

「ゆがみ」改善のヒミツ

◆ 全身が有機的につながっているという東洋医学の考え方

東洋医学と聞いて皆さんが思い浮かべるのは、漢方薬や鍼灸、ツボといった言葉でしょうか。

中国で生まれた東洋医学は、細胞や臓器はすべてつながっていると考えます。鍼灸師になるために東洋医学を学ぶ過程で、私は人間の体がもつ精細で機能的な神経の働きと、その緊密なネットワークを知って驚きました。

西洋医学が、体の悪い部分に直接アプローチして治療するのに対し、東洋医学では、体の内側から根本的に治すために外側に刺激を与えます。これは、全身が有機的なネットワークでつながっているからできることです。

たしかに、ある臓器が病気にかかって治療するとき、その臓器を対象を絞った対症療法をおこなうのはとても効率的です。けれど私たちの体は、臓器がそれぞれ単独で機能しているわけではありません。臓器はあくまでも体の一部であって、体を構成する要素のひとつです。

それに、もしかしたら病気や不調の原因は、ほかのところに隠れているかもしれません。

私たちの体は、互いに関係し合って成り立っているということを知れば、老け見え顔の原因であるシワやシミ、たるみなどを改善するのも、直接的な対症療法では十分ではないのかもしれない。

骨、筋肉、神経、血液、肝臓・心臓・腎臓などの臓器、もちろん皮膚も。これらが一体となって私たちの体を構成しています。

「木を見て森を見ず」という言葉のように、部分だけを見ていては全体を知ることができません。体全体を診る東洋医学にもとづいたマッサージなら、肌の不調や老化のもととなっている部分に作用します。つながりを正して、ネットワークが正常に働くようにする。それが基本的な考え方です。